

旧上瀬谷通信施設地区土地区画整理事業 の進捗状況 及び、GREEN×EXPO 2027の開催に向けた 取組状況について

報告項目

- 1 旧上瀬谷通信施設地区土地区画整理事業の進捗状況
 - (1) 仮換地指定
 - (2) 土地区画整理事業における工事の概要

- 2 GREEN×EXPO 2027の開催に向けた取組状況
 - (1) 機運醸成の取組
 - (2) 今後の予定

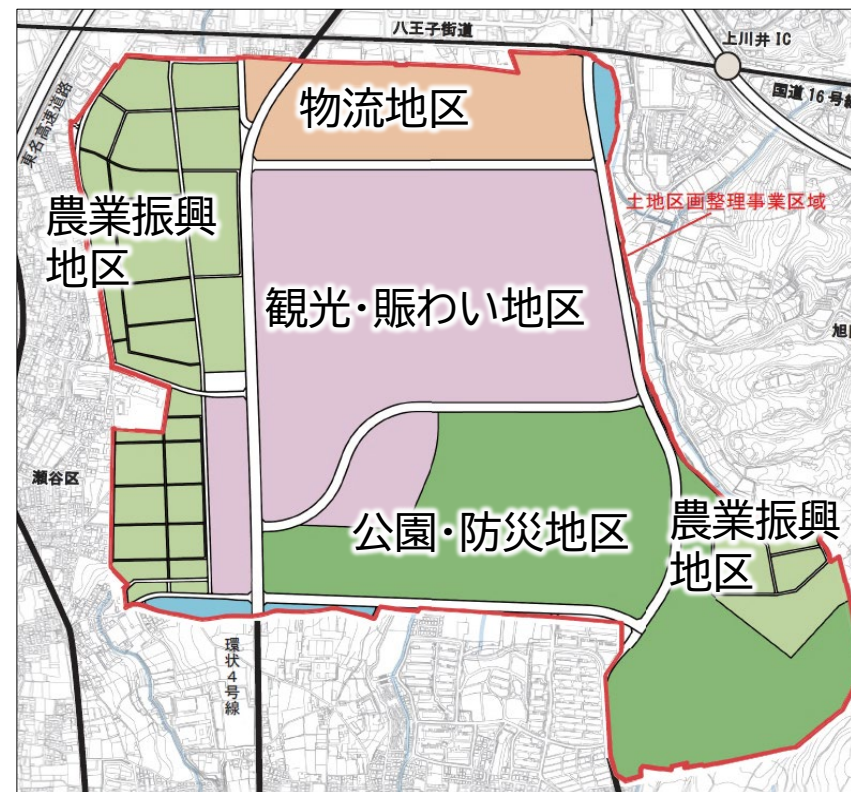
1 旧上瀬谷通信施設地区土地区画整理事業の進捗状況

(1) 仮換地指定

【これまでの経緯】

平成27年の返還以降、地権者で構成されるまちづくり協議会と土地利用計画などについて継続的に議論してきたほか、将来の生活設計に向け、地権者と調整を進めてきました。

これらを踏まえ、令和2年3月に策定した旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画で4つの地区を設けることとし、地権者との意向確認を進めてきました。



(1) 仮換地指定

【仮換地指定に向けた調整】

- 民有地については、各地権者の土地利用について今年2月から最終的な意向確認を行い、**10月末までに地権者（252名）の確認が完了**しました。
- 国有地については、**公園・防災地区に全て換地し、米軍施設撤去費等相当額は換地面積から除く**ことで国と協議が整いました。
- こうした調整を踏まえ、土地区画整理審議会（11月27日）へ換地設計案等の諮問を行い、答申を経て、**11月30日に仮換地指定※を行いました**。
- 仮換地指定後、地権者の皆さまに土地を明け渡していただき、**令和6年度早々から本格的に工事に着手**していく予定です。

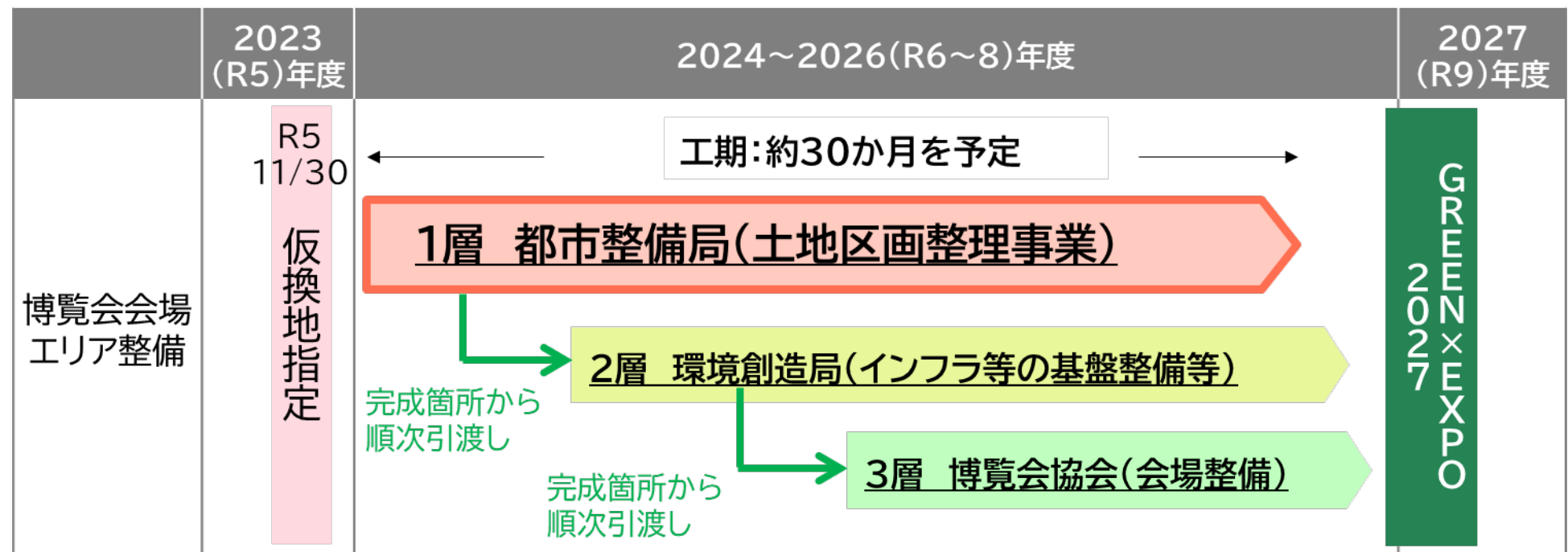
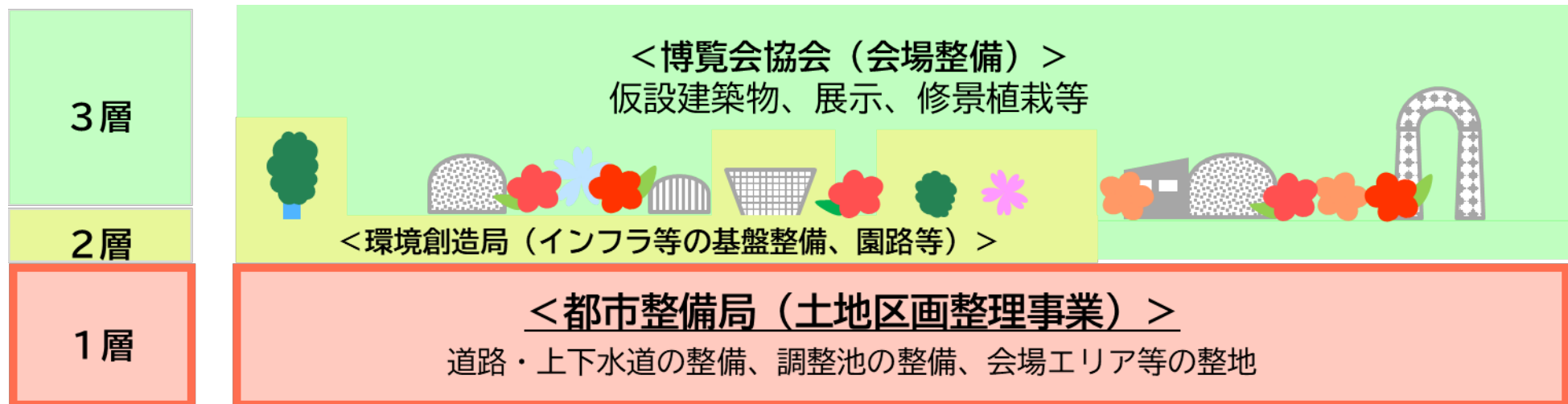
【※仮換地指定とは】 将来の土地利用に合わせて地権者の土地を再配置する行為です。これにより、土地区画整理事業の工事に本格的に着手できることとなります。

(1) 仮換地指定

【民有地等の仮換地の状況】

種別	換地面積				
	民有地の 仮換地	割合	保留地	国有地の 仮換地	合計
農業振興地区 (平均減歩率：2.7%)	35.6ha	43%	10.5ha	0ha	約50ha (農道等を含む)
観光・賑わい地区 (平均減歩率：36.5%)	24.5ha	30%	46.1ha	0ha	約70ha
物流地区 (平均減歩率：36.1%)	22.2ha	27%	0ha	0ha	約23ha
公園・防災地区 (平均減歩率：39.5%)	—		0ha	66.7ha	約67ha
道路等					約38.5ha
合計					約248.5ha

(2) 土地区画整理事業における工事の概要

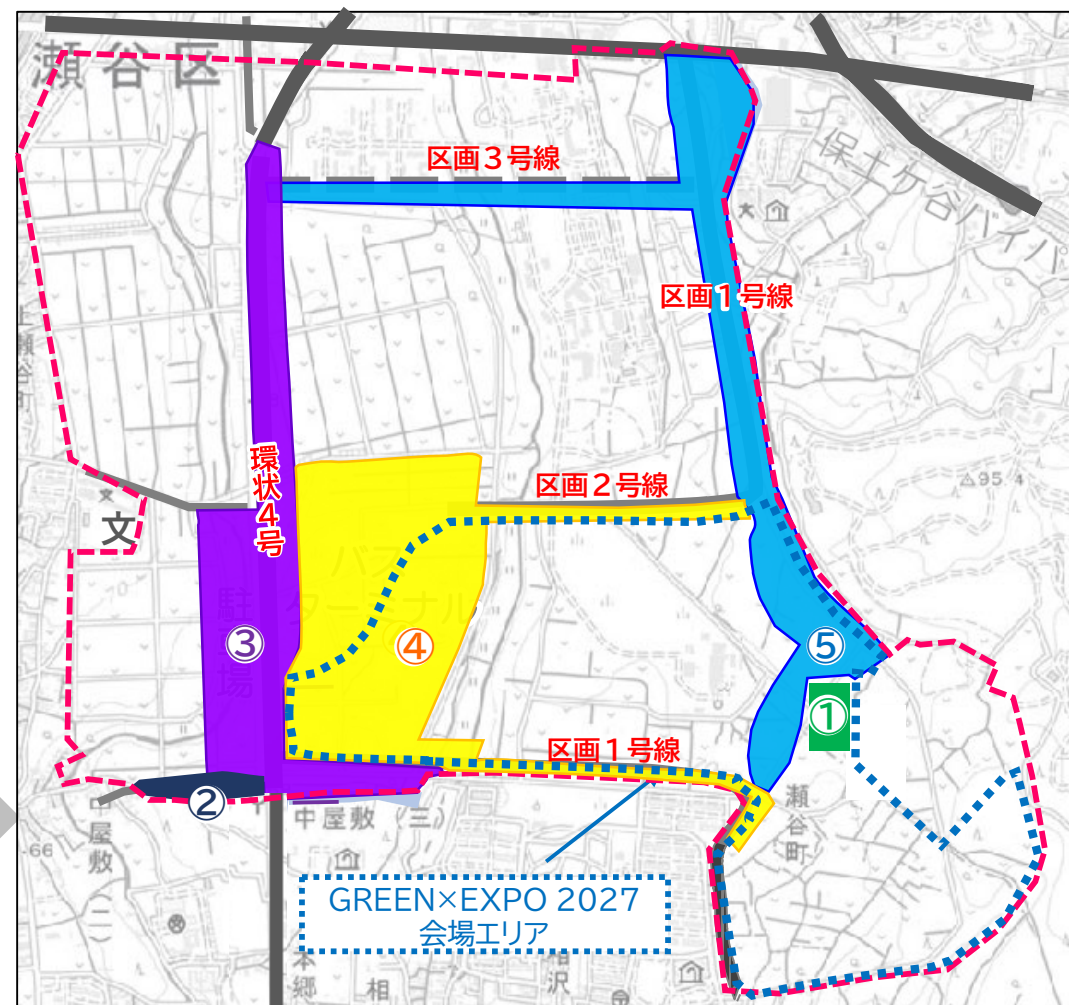
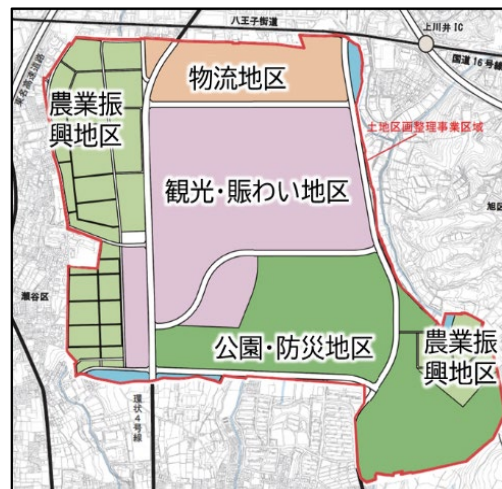


(2) 土地区画整理事業における工事の概要

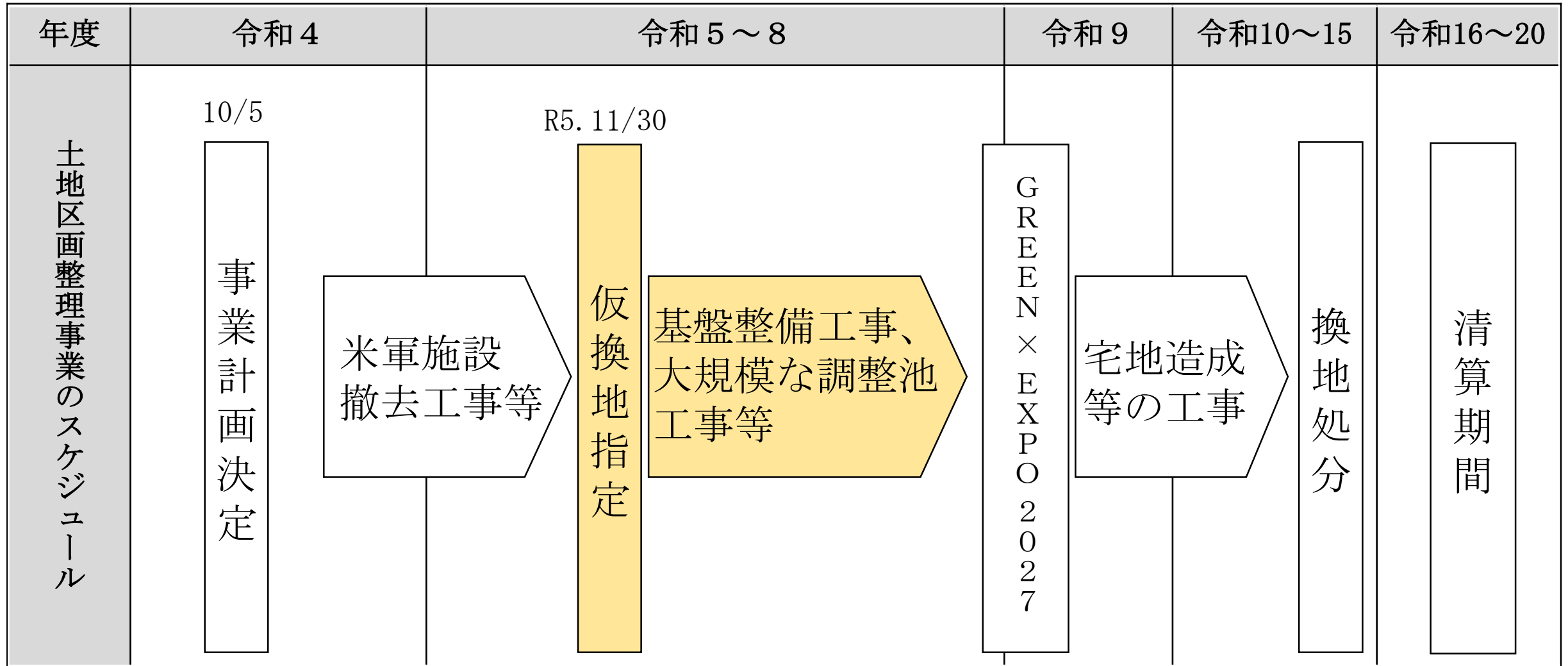
○ **3本の基盤整備工事と2本の調整池工事の計5本の大規模工事**について、現在、工事発注の手続きを進めており、**令和6年度早々の工事着手を予定**しています。

【5本の大規模工事の概要】

工事	主な内容
①相沢川調整池工事	調整池（地下式）の整備
②大門川調整池工事	調整池（オープン式）の整備
③基盤整備工事(その1)	整地、道路・上下水道、調整池等の整備
④ // (その2)	整地、道路・上下水道等の整備
⑤ // (その3)	整地、道路・上下水道、調整池等の整備



【参考】土地区画整理事業のスケジュール



2 GREEN × EXPO 2027の開催に向けた取組状況



(1) 機運醸成の取組



ア 取組概要

- 市民だけでなく国内外の方々、企業、団体や教育機関など多くの関係者と共に「GREEN×EXPO 2027」を知り、期待して、参加したいという機運を開催に向けて醸成します。
- 令和5年度を機運醸成元年と位置付け、万博の理念を表現する統一的なデザインやツールを活用した市内各所での広報PR、首長会議などでの市長によるトップセールス、多くの集客が見込める大規模イベントや国際会議など、様々な場面で認知度向上に向けて取組を進めています。
- また、2024年3月には開幕3年前を迎えるため、3年前イベントでのPRにより、機運を高めていきます。



<略称ロゴ>



<広報ポスター>



<横断幕>

(1) 機運醸成の取組



ア 取組概要

- また、「GREEN×EXPO 2027」は、市民や企業、団体の皆さまと一緒に創り上げ、Zero CarbonやNature Positiveに向けた行動変容に繋がる「新しい万博」を目指しています。
- 区連会の場などを活用した地域への説明、企業や団体（花・緑関連団体、教育機関を含む）を対象とした共創キックオフ・ミーティングの開催、ヨコハマ未来創造会議（仮）の開催など、様々な参加主体に向けて発信を行っています。
- 公園愛護会や水辺愛護会など、横浜の自然環境の維持に取り組んでいただいている市民活動を博覧会への市民参加につなげていきます。



< 共創キックオフミーティング 会場の様子 >



< 愛護会活動の様子（山下公園） >

(1) 機運醸成の取組



イ 市民に向けた機運醸成（令和5年度）

(ア) 統一的なデザイン・ツールを活用した機運醸成

全庁でツールを共通化し、統一感を持った広報でPR効果を上げます。

【広報ツールの一例】



<配布グッズ>



<カウントダウンボード>



<広報ブース例>



(イ) 公共施設等での広報PR

区役所への横断幕掲出や公共交通へのポスター掲出等を実施しました。



<駅構内でのPR>

<区役所への横断幕掲出>



(1) 機運醸成の取組

ウ 市内イベントにおける機運醸成 (令和5年度)

(ア) 園芸関係イベントと連携した機運醸成

- ・春の里山ガーデンフェスタ2023 (3/25~5/7)
- ・ローズフェアwith趣味の園芸 (5/11~15) など



<ローズフェアでの展示>



<里山ガーデンでのPR>

(1) 機運醸成の取組



ウ 市内イベントにおける機運醸成（令和5年度）

(イ) 大規模イベントほかでの機運醸成

首都圏からの集客が見込まれる大規模イベントや市民が主体となって開催される区民まつりにて、ブース出展などによる広報PRを実施しています。



<新横浜パフォーマンスでの出展>



<横浜マラソンでのPR>



<ワールドフェスタでの出展>



<区民まつりでの広報ブース例>



<区民まつりでのフォトスポット例>



(1) 機運醸成の取組

エ 市長によるトップセールス（令和5年度）

指定都市市長会などの首長会議や国際会議などの機会を捉え、市長によるトップセールスを展開しています。



< 指定都市市長会 >



< Y-SHIPでの講演 >

(1) 機運醸成の取組

オ 企業に向けた機運醸成

(ア) 共創キックオフ・ミーティング

GREEN×EXPO 2027の目指すビジョンや共創の姿を企業・自治体・大学など関係者の方々と共有し、出展等のご参加にご理解いただく機会として開催しました。

◆開催概要

- ・日時 令和5年9月26日(火) 10時00分～12時00分
- ・主催 (公社) 2027年国際園芸博覧会協会、横浜市、横浜商工会議所
- ・会場 パシフィコ横浜ノース
- ・対象 企業、花・みどり関係団体、教育機関、地方自治体等
- ・来場者数 約600名



【会場の様子】



(1) 機運醸成の取組

GREEN × EXPO 2027会場



3つのゾーン

GREEN×EXPO 2027の骨格となる3つのゾーンを設けます。

国際展ゾーン

世界各国や国際的な花き園芸・造園企業による出展。世界の園芸文化、食農文化の多様性に出会う国際色豊かなゾーンです。

シンボルゾーン

GREEN×EXPO2027のテーマを発信するテーマ館のほか、花き品種、ガーデンデザインなどの多彩なコンペティションが展開される屋内出展施設を設けます。

日本ゾーン

日本政府による庭園及び屋内出展のほか、主催者による園芸文化展示、自治体等による出展が集結。日本の園芸文化の奥行きに触れることができます。

5つのVillage

GREEN×EXPO 2027独自の取り組みとなるテーマ共創事業としてGXを実現する5つの「Village」を設けます。主催者と参加者がテーマを共有しながら、「幸せを創る明日の風景」の創出に取り組みます。

Urban GX Village

Farm & Food Village

Craft Village

Kids Village

SATOYAMA Village

(1) 機運醸成の取組



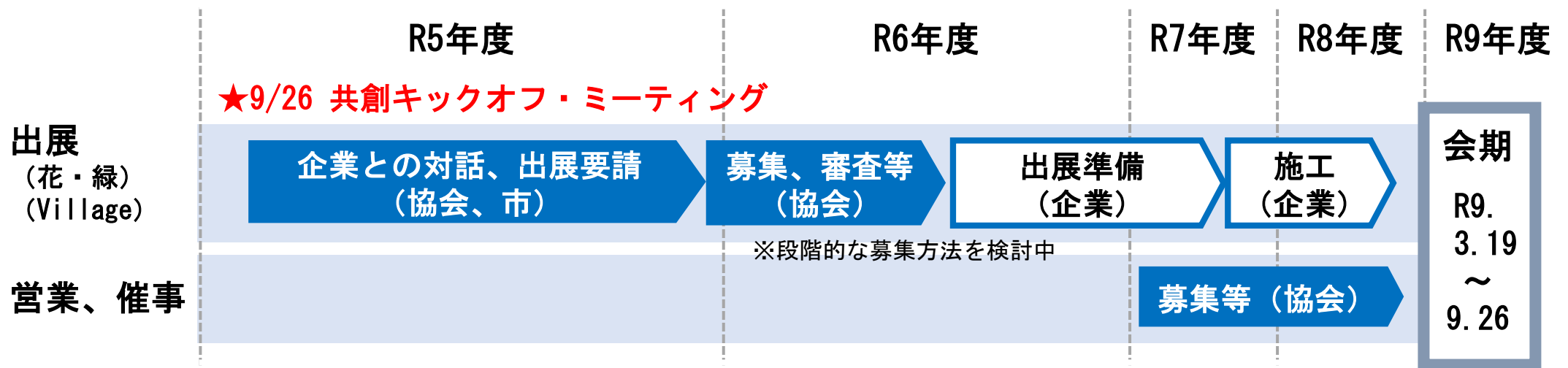
オ 企業に向けた機運醸成

(イ) 企業との対話

本市に貢献いただいている企業、SDGsやGXに積極的に取り組んでいる企業、会場を支えるインフラ・設備に係る企業等に対し、博覧会協会と連携しながら出展・営業・催事など参画に向けた働きかけを進めています。

特に、出展については、今後の募集開始に向けて、企業への出展要請を加速させます。

【参考】現時点における想定スケジュール



(1) 機運醸成の取組

力 次世代を担う若い世代への機運醸成

(ア) ヨコハマ未来創造会議（仮称）のキックオフ

- 「GREEN×EXPO 2027」の開催を契機とし、20年・30年先の社会を担う現在の大学生や企業の若手社員の若者が参加して、議論し、アクションを起こすきっかけとなる会議体として、「ヨコハマ未来創造会議（仮称）」を新たに立ち上げました。
- 会議体立ち上げの機運を醸成するため、12月10日（日）にパシフィコ横浜でキックオフイベントを開催しました。
- キックオフイベントでは、市長による「ヨコハマ未来創造会議（仮称）」の紹介、GREEN×EXPOラボ 涌井 史郎 チェアパーソンによるGREEN×EXPO 2027と若者の関わりをテーマにしたスピーチ、会議体及び参加する若者に伴走する『GREEN×CAPTAIN』秋元 真夏さんの就任、当日参加した若者も登壇しての車座トーク等の多彩なプログラムで開催し、約100名もの若者の皆さんにご参加いただきました。



(2) 今後の予定



年度	項目
R5(2023)	<u>市民や企業等へのプロモーション、会場計画の具体化、輸送基本計画策定、環境影響評価の手続き等</u>
R6(2024)	<u>市民や企業等へのプロモーション、ボランティア募集、会場整備着工、環境影響評価の手続き等</u>
R7(2025)	<u>会場コンテンツなど来場者へのプロモーション、会場整備、チケット販売、行催事参加者募集等</u>
R8(2026) ~R9(2027)	<u>来場者へのプロモーション、会場整備、チケット販売、行催事準備等</u> GREEN×EXPO 2027開催[令和9(2027)年3月19日~9月26日]